

みやざわけんじ せかい しょうかい
 ☆宮沢賢治の世界を紹介☆

10月18日(火)、たかね図書館の
 大平さんにご協力をいただき、
 6年生を対象に「読書アニメシ
 ョン」を行いました。もうすぐ国語の
 授業で「やまなし」を勉強すると
 いうことで、「宮沢賢治」の作品を
 使ったアニメーションでした。6年生
 のみなさん、宮沢賢治の世界を満喫
 していただけましたか？

読書アニメーションとは…スペインの
 モンセラット・サルト氏らが開発
 した「子どもの読む力を引き出す
 手法」。クイズや順番並べ、ダウトを
 さがせなどがある。



高根西小

のみなさんへ

たかね図書館は、西小
 から遠いかもしれない
 けど、お友達と遊びに
 来てくださいね♪

お待ちしております♡
 大平



たかね図書館 大平さん☆

*** 正しく読書をしているかな？ ***

西小には、本が大好きなお友だちがたくさんいるでござる。でも、普段、学校やお家で
 本を読むとき、暗い所で読んだり、変な姿勢で読んだりしている人はいないかな？本を
 読むことは大切だけど、本を読むことによって目や姿勢が悪くなってしまうのはとても
 残念でござるよ。正しい読書の仕方（術）を知って、上手に本と付き合っていこう！！

① 明るい所で読書をしようの術！

暗い所で本を読むと、本と目の距離が近くなって目が疲れやすくなるでござる
 よ。その結果、目が悪くなってしまうということも……。本を読むときは、
 明るい所で読もう！ただし、外でおひさまの下で本を読むと逆にまぶし
 すぎて目によくないからやめよう！

② 正しい姿勢で読書をしようの術！

体に合ったつくえやいすを使い、寝ころんだり横目を使いながらの読書は
 避けよう。本と目の距離は30センチくらい離して読むのが理想的だよ。姿勢が
 悪いと首が痛くなったり、目が悪くなったりしてしまうから気をつけよう！

長い時間ずーっと休まず本を読むことも疲れ目の原因になるから、30分本を
 読んだら5分休み、遠くの景色をながめてから読書をするなど工夫をする
 といいでござるよ。適当な明るさと正しい姿勢、そしてときどき目を休めながら
 楽しい読書が続けよう！

